

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市子ども夢パーク	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体 ・代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 山田 雅太 川崎市中原区今井南町28-41 ・構成員名 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 理事長 西野 博之 川崎市高津区千年435-10	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数:87,103人 (平成29年度:87,290人)	②年間延べ利用団体数:755団体 (平成29年度:754団体)
収支実績	1 収入 単位:円 指定管理料 69,654,000 雑収入 127,210 合計 69,781,210  2 支出 人件費・賃金 38,035,054 光熱水費 3,153,466 委託費 8,972,479 消耗品費 2,236,076 修繕費 3,135,572 その他経費 13,648,203 合計 69,180,850  3 差引 600,360	
サービス向上の取組	川崎市子どもの権利に関する条例の理念に沿った事業展開を実施した。また、利用者や地域住民の意見を運営に反映させ、サービス向上に取り組んだ。	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	条例の理念の実現	川崎市子どもの権利に関する条例の理念(子どもの参加の促進、子どもの居場所の確保等)の実現が図られているか。	5	5	5
	(評価の理由) 冒険遊び場(プレーパーク)事業や音楽スタジオ事業において、子どもたちの「やってみよう」という気持ちを大切に、遊びを制限するような禁止事項をできるだけつくらず、子どもが自分で決めたり危険を判断したりできるよう、子どもたちの遊びを支援した。特に今年度は、7月23日に開催した172人の参加による「夢パーク15周年おたんじょうび会」をはじめ、施設15周年にちなんだ複数の事業を通年で実施するなど特色のある取組を行った。 不登校児童生徒の居場所事業において、いつでも、どこでも、誰でも学べるという生涯学習の視点に立ち、誰もが安心して過ごせる不登校児童生徒の居場所「フリースペースえん」の運営を行った。 利用者数及び利用団体数は、前指定管理時平均(88,839人、766団体)並みの87,103人、755団体だった。 子どもの権利条例の理念の実現にあたっては、「子どもの最善の利益」を重視した質の高い運営のため、子どもたちが安心して過ごすことができる環境を整えるとともに、積極的に子どもが参画できる「子どもの居場所」の実現に向けて、スタッフの力量向上を目指す研修等を行った。子どもが自分たちの居場所を自分の頭で考え、自分たちの手で仲間やおとなと協力して、主体的につくり続けていくことを支援することなどにより、「KUJI ROCK」、「こどもゆめ横丁」等の事業において子どもの参加する権利の保障を推進するなど特段の取組を行った。 子どもの権利の日常業務への参画等による条例の理念の周知に関わる取組、子どものSOSをキャッチできる環境づくり、関係機関に子どもをつなげていける環境づくり等の取組も推進した。				
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	(評価の理由) 利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員を配置した。近隣大学や社会福祉系・教育学系の大学生の実習やインターンシップ、ボランティアの積極的な受け入れを通じて、夢パークの理念を理解してもらい、次期職員につながるような若い人材を養成した。 夢パークの理念の研修、プレーリーダーの養成研修など、施設の特長と子どもの最善の利益を優先し、子どもの権利を全面的に保障することを目的とした運営のための研修を年度内に74回実施した。各個人が参加した研修の内容等は他のスタッフと共有し、特に今年度は、年間を通して実施した「子どもの参画について」の研修内容を活かして「こどもゆめ横丁」等の様々な事業の企画段階から子どもの参画を促すなど、事業運営に反映させている。 個人情報保護の管理・監督体制を整備しており、個人情報漏えい等のトラブルはなかった。				

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	5	10
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 定期的な広報誌の発行及び新聞・テレビ・ラジオ・情報誌等を利用した積極的な広報・啓発活動を行った。特に今年度は、「夢パークつうしん」において施設設立15年を振り返る特集を月号組み、最終号ではまとめとして15周年事業紹介、所長の挨拶、「特別付録年表すごろく」等による広報を行った。また、学校、他自治体、海外等からの視察・見学を頻繁に受け入れ、夢パークの理念や取組を広く市内外にアピールし、子どもの権利条例の周知とともに川崎市の取組や認知度の向上を図った結果、視察・見学件数は170となった。 利用者に対する良好な接遇が図られ、要望等に適切に対応した。 地元町内会との意見交換会を開催して年間計画を紹介し、互いの事業において連携して交流を推進しているほか、地元の小・中学校への訪問・交流・遠足等の受け入れ、国の施策に関わる協力・連携、川崎市・高津区の施策に関わる会議への参加等も積極的に行った。「フリースペースえん」では、子どもたちの在籍校と連絡を取り合い、出席状況の報告や子どもの活動の様子などを伝え、先生の訪問による面談を通じて情報交換を行い、出席報告件数は51となった。 傾聴のスタンスを基本とした子どもとの日常的な対話や利用者懇談会、利用者アンケート等により積極的にニーズを把握し、事業運営に十分反映させた。特に今年度は、子どもたちの「やってみよう」の声から始まり、企画、広報、会場の準備など子どもが中心となって打合せを繰り返し、「I-VAN(アイバン)と夢パドでヤーマン！」プロジェクトを実施した。また、「お掃除大作戦」や「メンテナンスの会」の実施等、利用者の意見を施設管理にも反映させている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	4
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3	
	災害発生時のマニュアル等が整備されているか				
(評価の理由) 大型ハンモックの大規模補修や防砂ネット設置等、施設・設備の保守点検や必要な補修工事については、修繕計画を作成して計画的に行った。 冒険や挑戦ができるという夢パークの特徴的な機能を確保しながら、物的ハザード(構造、施工、維持管理の不備による危険)の除去に努めた。リスクとハザードについての研修を独自に実施し、物的リスク・人的リスクの観点から子どもたちの動きについて発達段階を考慮に入れ、事故がどの場所で起こりうるか、どのような事故防止策が必要かを総合的に判断し、対応を行った。事故原因を検証し、類似の事故が生じないように、点検を重点的にを行い、事故の再発防止に努めた。さらに、小さな事故であってもケガをした子ども及び保護者に対するアフターフォローをするように配慮した。 防犯マニュアルや緊急対応の周知徹底を行い、地元町内会や地域団体と連携して防犯に関する情報収集を常時行った。 地元町内会や地域団体と連携した避難訓練や消防訓練を適正に実施し、「川崎市地域防災計画」を踏まえた災害発生時のマニュアル等を整備している。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
		効率的・効果的な支出	5	3	3
	計画に基づく適切な収入が確保されているか				
	計画に基づく適切な支出がなされているか				
	支出に見合う効果が得られているか				
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
(評価の理由) 仕様書等に従い、会計処理及び金銭管理を適切に処理した。 計画に基づいた適切な収入・支出がなされ、支出に見合う効果が得られている。					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

- A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

子どもの権利条例の理念に基づく施設である夢パークは、子どもの自主的な取組を尊重し、自発的活動を支援すること等により、それぞれの子どもに応じた成長及び地域活動への参加の促進等に寄与、条例を具現化する施設としての運営を行なっている。また、不登校児童生徒の居場所について、「フリースペースえん」で指定管理者の専門性及び人的ネットワーク等を活かした様々な活動が行われている。自由な遊び場及び地域における子どもの居場所等の需要が高まる中で、利用者ニーズを積極的に把握して柔軟な事業執行が図られていることは、高く評価できる。
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

子どもの自主的、自発的活動の支援及び居場所づくりのため、子どもの安全、安心には引き続き十分に配慮し、地域と連携して適切な管理運営を行うとともに、子どもの権利条例及び施設の理念を職員間で共有して事業執行すること。また、広報媒体の活用等により施設及び事業の周知に努め、子どもの権利条例の理念を具現化する施設としての役割を来年度も十分に担うこと。
--